

自分の道をきよく保つには

2021年7月25日

詩篇 119篇9～16節

箴言 7章

序：先週の箇所……世界に、子孫に、信仰が広がり、継承されること
若者への伝道・福音の証し

今週は若い人向けの詩篇（最長119篇、アルファベットの2番目）

テーマ：みことば（122篇以外の前節）

I. 若い人

(1)若さ = 希望、可能性、活力、情熱、柔軟性、やり直しができる
未熟、不安、挫折、失意、知識や経験不足、誘惑

にもかかわらず、一生の大事に対応しなければならない悩ましさを
進路、就職、結婚

(2)きよく保つ

神はわれわれに聖さを求めておられる ペテロI 1・14～16
神が聖だから 生活のすべてにおいて聖なる者であれ

(3)解決は主にある、主のみことばにある、それに従うこと

地上の旅人には、ガイドブックが必要

空想、理想、観念、甘え ⇒ 現実、ふさわしい方法、果敢に
あなたの若い日に創造者を覚えよ 伝 12・1

II. みことばに従い守る

(1)心を尽くして尋ね求める

主の仰せから迷い出ないように（祈り）＝迷い出やすい自分を自覚

(2)みことばを心にたくわえる

罪を犯さないため（未然に防ぐブレーキ）

①金銭 テモテI 6・10（悪の根）、ヘブル13・5（金銭を愛する生活）
伝 10・19（すべての必要に通じる） 5・10（満足がない/持てばもつほど欲しい）

②性 箴言 7章、ダビデの姦淫、男女老若問わず畏、家族・社会崩壊
古今東西 ”

③権力・地位・名誉 アブサロムの反乱

暗唱聖句（聖書を奪われても心の中のみことばは奪われない）

試練、重大な決断の時、力と確信

(3)さらに、主からおきてを教わる(学ぶ)
知れば知るほど、深く広く慕い求める 無尽蔵 時に応じて

(4)みことば=御口のさばきを語り告げる
隣人への主のあかし ⇒ 隣人の救い、伝えた者の喜び・感謝
死蔵=自己満足、傲慢/ 救いを生み出さない
愛をもって真理を語る エペソ 4・15

Ⅲ. みことばは私の宝

(1)主のさとしの道を、楽しんでいる(何にもまさって)
守り、養い、豊かにしてくれる/ 退屈・窮屈・味気無い・無益なものではない
おいしい食事のように

(2)主の戒めを黙想し、主の道に目を留める
主への恐れ、へりくだる/ 肉の知性・世の知識の及ばないところ
みことばを読む、聞くだけでなく、想い巡らす ⇒ 生活への適用

(3)主のおきてを喜びとし、忘れない
人は楽しいこと、好きなことに時間、財、労力を惜しまない
喜びとする=ほかの何をさておき
義務感、束縛感、強迫観念からは解放
忘れない=心に刻む、日々繰り返す、心から離れない

Ⅳ. 結び

- (1)聖書は旅人のガイドブック(地図、航海図、羅針盤)
- (2)それに従えば迷わない、目的地を見失わない、採るべき方策がわかる
- (3)罪を未然に防ぐ、罪から立ち帰る by みことばを心に貯える
- (4)福音、イエス・キリストの救いの道を宣べ伝える
- (5)みことばを愛し、喜び、黙想して、忘れない (暗唱、書写、伝道)

今日から、小さくても計画を立てて実行する
他人の真似ではなく、自分にふさわしい方法、時間に
どんな宝よりも尊く、楽しみとなるように!